

平成19年7月27日

各位

会社名 株式会社USEN
代表者名 代表取締役社長 宇野康秀
(コード番号 4842 ヘラクレス)
問合せ先 取締役管理本部長 紺屋勝成
(TEL:03-6823-7015)

会社名 株式会社BMB
代表者名 代表取締役社長 加茂正治
(コード番号 9841 JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長 中島博道
(TEL:03-6820-1000)

株式交換契約締結に関するお知らせ

平成19年7月27日開催の各社の取締役会において、株式会社USEN(以下「USEN」といいます。)は平成19年9月21日を期して、下記のとおり株式交換(以下「本株式交換」といいます。)により株式会社BMB(以下「BMB」といいます。)を完全子会社とすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。なおBMB株式は、本株式交換の実施に伴いジャスダック証券取引所において上場廃止となる予定です。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

平成19年6月11日付の「株式会社BMB株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」(以下「公開買付けの開始に関するお知らせ」といいます。))の「1. 公開買付けによる完全子会社化の目的」でご案内いたしましたとおり、USENは、BMBの完全子会社化を目指して、平成19年6月12日から平成19年7月10日まで、BMB株式の公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)を実施いたしました。その結果、本日現在、USENはBMBの発行済株式66,446,533株(BMBの発行済株式総数に占める所有割合で約92.88%、議決権割合で約96.25%)を保有しております。

両社は、本公開買付けによりUSENがBMBの発行済株式の全てを取得することができなかったため、「公開買付けの開始に関するお知らせ」にも触れておりましたとおり、株式交換の手法により、本公開買付けに応募されなかった全てのBMB株主の皆様に対しUSEN株式を交付することといたしました。

株式交換比率については、前述のとおりBMBの総株主の議決権の約96.25%をUSENが所有していることから、その公正性・妥当性を確保するため、各社は、後記2(3)でご説明いたしますとおり、それぞれ独立に第三者算定機関に株式交換比率算定について依頼することとし、その分析の提出を受け、これを参考として、両社により交渉・協議し合意した株式交換比率により本株式交換を行うことといたしました。

なお、本株式交換を行うことの決議に関しては、利益相反を回避する措置として、BMBの代表取締役である加茂正治およびBMBの社外取締役である宇野康秀はUSENの取締役であるため特別利害関係者として、また、BMBの取締役である寺岡博彦はUSEN出身者であるため特別利害関係者に準じて、BMB取締役会におけるかかる決議には参加しておらず、USENの取締役である加茂正治はBMBの代表取締役であるため、USENにおけるかかる決議には参加しておりません。

本株式交換の結果、効力発生日である平成19年9月21日をもってBMBはUSENの完全子会社となり、BMB株式は平成19年9月14日付で上場が廃止（最終売買日は平成19年9月13日）される予定です。

注) 議決権割合の計算において、分母を平成19年7月10日現在のBMBの発行済株式総数(71,543,129株)から、同日現在のBMBの自己株式数(2,506,509株)を控除した69,036,620株に係る議決権の数を690,366個として計算しております。

2. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程

株式交換決議取締役会(両社)	平成19年7月27日(金)
株式交換契約締結	平成19年7月27日(金)
上場廃止日(BMB)	平成19年9月14日(金)(予定)
株式交換の日(効力発生日)	平成19年9月21日(金)(予定)
株券交付日	平成19年12月上旬までに交付(予定)

注) 本株式交換は、USENについては、会社法第796条第3項の規定に基づき簡易株式交換の手続きにより、また、BMBについては、会社法第784条第1項の規定に基づき略式株式交換の手続きにより、各社とも株主総会の承認を得ないで行う予定です。

(2) 株式交換比率

会社名	株式会社USEN (完全親会社)	株式会社BMB (完全子会社)
株式交換比率	1	0.583

注1) 株式の割当比率

BMBの株式1株に対して、USENの株式0.583株を割当て交付します。ただし、USENが保有するBMB株式66,446,533株については、本株式交換による株式の割当ては行いません。なお、BMBは効力発生日までに保有する全ての自己株式につき消却する予定です。

注2) 株式交換により発行する新株式数等

USENは、本株式交換に際して普通株式を新たに発行し、本株式交換による株式の割当てに充当します。

(3) 株式交換比率の算定根拠等

① 算定の基礎および経緯

本株式交換の株式交換比率については、その公正性・妥当性を確保するため、各社がそれぞれ独立に第三者機関に株式交換比率案の算定について依頼することとし、USENは大和証券エスエムビーシー株式会社(以下「大和証券SMBC」といいます。)を、BMBはTFPビジネスソリューション株式会社(以下「TFPビジネスソリューション」といいます。)を、それぞれの第三者算定機関として選定しました。

大和証券SMBCは本株式交換に先立って本公開買付けの事実、諸条件、結果等を分析した上で、USENについては市場株価法(対象期間は本公開買付け公表日の翌営業日である平成19年6月12日から平成19年7月25日までの期間、平成19年6月26日から平成19年7月25日までの1ヶ月間、平成19年4月26日から平成19年7月25日までの3ヶ月間および平成19年1月26日から平成19年7月25日までの6ヶ月間の各取引日のVWAP(出来高加重平均株価)平均)による分析を行い、1株当たりの株式価値を925円～1,031円と算定しました。BMBについては市場株価法(対象期間は本公開買付け公表日の翌営業日である平成19年6月12日から平成19年7月25日までの期間、平成19年6月26日から平成19年7月25日までの期間、平成19年4月26日から平成19年7月25日および平成19年1月26日から平成19年7月25日までの期間の各取引日のVWAP平均)、DCF法(ディスカунテッド・キャッシュフロー法)による分析を行い、本公開買付けの結果および公開買付価格等を総合的に勘案し、少数株主保護および株主平等の原則を考慮すると共に、本株式交換と本公開買付けは一連の取引であるとの考えから、1株当たりの株式価値を公開買付価格と同額の600円と算定しました。大和証券SMBCの分析を受けてUSENは株式交換比率の算定において、BMB株式1株に対するUSEN株式の割当株数を0.582株～0.649株の範囲で検討いたしました。

一方、TFPビジネスソリューションは、BMBについては、市場株価方式(対象期間は本公開買付け終了の公表日の翌営業日である平成19年7月12日から平成19年7月25日までの期間、本公開買付け公表日の翌営業日である平成19年6月12日から平成19年7月25日までの期間、平成19年6月26日から平成19年7月25日までの1ヶ月間、平成19年4月26日から平成19年7月25日までの3ヶ月間、平成19年1月26日から平成19年7月25日までの6ヶ月間の各取引日の終値平均値および出来高加重平均値)、DCF方式(ディスカウンテッド・キャッシュフロー法)、類似会社比準方式による分析を多面的に行った上で、本公開買付けの結果および公開買付価格等を総合的に勘案し、少数株主保護および株主平等の原則を考慮すると共に、本株式交換と本公開買付けは一連の取引であるとの考えから、1株当たりの株式価値を公開買付価格と同額の600円と算定しました。USENについては、市場株価方式(対象期間は本公開買付け終了の公表日の翌営業日である平成19年7月12日から平成19年7月25日までの期間、本公開買付け公表日の翌営業日である平成19年6月12日から平成19年7月25日までの期間、平成19年6月26日から平成19年7月25日までの期間、平成19年4月26日から平成19年7月25日までの期間、平成19年1月26日から平成19年7月25日までの期間の各取引日の終値平均値および出来高加重平均値)による分析を行い、1株当たりの株式価値を924円～1,030円と算定しました。以上の評価方法に

よる評価結果を総合的に勘案し、TFPビジネスソリューションは、BMB株式1株に対してUSEN株式を割当交付する株式交換比率を0.583株～0.649株と算定しました。USENおよびBMBは、上述の第三者算定機関から提出を受けた株式交換比率案の分析結果を慎重に検討し、また、本公開買付けの結果を考慮した上で、交渉、協議を重ねた結果、それぞれ平成19年7月27日に開催された取締役会において、本株式交換における株式交換比率を決定いたしました。

なお、BMBの代表取締役である加茂正治およびBMBの社外取締役である宇野康秀はUSENの取締役であるため特別利害関係者として、また、BMBの取締役である寺岡博彦はUSEN出身者であるため特別利害関係者に準じて、BMB取締役会におけるかかる決議には参加しておらず、USENの取締役である加茂正治はBMBの代表取締役であるため、USENにおけるかかる決議には参加していません。

② 算定機関との関係

大和証券SMBC及びTFPビジネスソリューションのいずれも、USEN及びBMBの関連当事者には該当いたしません。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取り扱い

BMBは、取締役並びに執行役員・従業員に対し、ストックオプションとして新株予約権を発行しておりましたが、現在は該当事項ございません。

3. 株式交換当事会社の概要

(連結ベース、USEN平成19年2月28日現在、BMB平成19年2月20日現在)

(1) 商号	株式会社USEN (完全親会社)	株式会社BMB (完全子会社)
(2) 事業内容	放送事業、ブロードバンド・通信事業、カラオケ事業等	カラオケ機器の企画、開発、販売、楽曲送信等
(3) 設立年月日	昭和39年9月7日	昭和47年4月21日
(4) 本店所在地	東京都港区赤坂九丁目7番1号	東京都港区赤坂九丁目7番1号
(5) 代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 宇野 康秀	代表取締役社長 加茂 正治
(6) 資本金の額	50,906百万円	11,638百万円
(7) 発行済 株式数	111,114,187株	71,543,129株
(8) 純資産	82,919百万円	18,209百万円
(9) 総資産	349,605百万円	50,967百万円
(10) 事業年度の 末日	8月31日	8月20日
(11) 従業員数	8,807名	1,077名

(12) 主要取引先	全国業務店・個人顧客		株式会社USEN 昭和リース株式会社	
(13) 大株主および 持株比率	宇野 康秀	49.84%	株式会社USEN	46.07%
	DB信託株式会社(有価証券 信託口6632)	4.50%	日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	12.14%
	依田 巽	1.77%	日本マスタートラスト信託 銀行(株)(信託口)	3.29%
	ユービーエスエージーロン ドンアカウントアイピービーノ ンセグアカウント(常任代理 人 シティバンク・エヌ・エイ 東京支店)	1.62%	ステート ストリート バン ク アンド トラスト カンパ ニー505019(常任代理人 (株)みずほコーポレート 銀行兜町証券決済業務 室)	1.79%
	日本マスタートラスト信託銀 行株式会社(信託口)	1.02%	資産管理サービス信託銀 行(株)[信託A口]	0.94%
	メロンバンクフリーティークラ イアンツオムニバス(常任代 理人 香港上海銀行東京支 店)	1.01%	ビーエヌピー パリバ セ キュリティーズ サービス パリス フィナマ ジャスデ ック フランス(常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	0.78%
	ステートストリートバンクアン ドトラストカンパニー505025 (常任代理人 株式会社み ずほコーポレート銀行兜町 証券決済業務室)	1.00%	シージーエムエルアイピ ービー カスタマー コラテ ラル アカウント(常任代理 人 シティバンク, エヌ・エ イ東京支店)	0.77%
	アイ・ティー・エックス株式会 社	0.98%	クレディエットバンク エス エイ ルクセンブルジョワ ーズ-シリウス ファンド-ジ ャパン オパチュニティズ サブ ファンド(常任代理 人 (株)みずほコーポレート 銀行兜町証券決済業務 室)	0.70%
	ビーエヌピーパリバセキュリ ティーズサービスパリスアク サジャスデックフランス(常 任代理人 香港上海銀行東 京支店)	0.85%	メリルリンチ インターナシ ョナル エクイティ デリバ ティブス(常任代理人 メリ ルリンチ日本証券(株))	0.67%
	USEN従業員持株会	0.84%		

		BMB共栄会	0.67%
(14) 主要取引銀行	株式会社りそな銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社あおぞら銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行	
(15) 当事会社間の関係等	資本関係	USENは、BMBの発行済株式総数の約92.88% (66,446,533株)を所有しております。	
	人的関係	USENより、代表取締役および社外取締役1名、社外監査役1名が就任しております。	
	取引関係	カラオケ関連商品の販売および賃貸。	
	関連当事者への該当状況	BMBはUSENの連結子会社です。	

(注1) 平成19年3月27日付(報告義務発生日平成19年3月23日)でUSEN代表取締役社長である宇野康秀から変更報告書(大量保有報告書の変更報告書)が関東財務局に提出されており、本日現在のUSEN株式の保有数は60,387,600株である旨の報告がありました。

(注2) USENは、平成19年4月19日開催の取締役会で、ゴールドマン・サックスが出資するジーエス・ティーケー・ホールディングス・ツー合同会社を引受先とする第三者割当による新株式の発行を決議しており、本日現在ジーエス・ティーケー・ホールディングス・ツー合同会社はUSENの発行済株式の約18.08%(24,509,810株)を所有しています。

※参考 平成19年4月19日リリース

「第三者割当による新株式発行及び主要株主の異動に関するお知らせ」

http://www.usen.com/admin/corp/news/pdf/2007/070419_2.pdf

(注3) USENが平成19年6月12日から平成19年7月10日まで実施しておりましたBMBの株式に対する公開買付けにより、本日現在、BMBの発行済株式の総数に占めるUSENの持ち株比率は、約92.88%(議決権割合で約96.25%)となっております。

(16) 最近3年間の業績

【連結ベース】

決算期	株式会社USEN (完全親会社)			株式会社BMB (完全子会社)		
	平成16年 8月期	平成17年 8月期	平成18年 8月期	平成16年 8月期	平成17年 8月期	平成18年 8月期
売上高 (百万円)	121,913	154,148	182,009	19,281	48,466	50,163

営業損益 (百万円)	5,616	9,531	3,530	1,637	5,929	5,937
経常損益 (百万円)	4,605	6,274	△3,640	1,401	5,291	5,304
当期純損益 (百万円)	1,718	△27,707	△8,889	478	2,790	2,581
1株当たり 当期純損益	278.54円	△395.75円	△115.48円	6.64円	38.72円	35.53円
1株当たり 年間配当金	—	10.0円	10.0円	2.0円	7.0円	10.0円
1株当たり 純資産額	429.60円	409.35円	497.09円	200.12円	235.41円	263.73円

(注1) USENは平成16年9月21日付をもって、1株につき10株の株式分割を行っております。なお、平成17年8月期の1株当たり当期純損失および1株当たり純資産額は、株式分割が期首に行われたものとして計算しております。また、平成16年8月期の1株当たり純資産額および1株当たり当期純利益は、当該影響を考慮し、遡及修正しております。

(注2) BMBは平成16年6月17日開催の第32期定時株主総会により、決算期を3月20日から8月20日に変更しました。従いまして、平成16年8月期は5ヶ月間の変則決算となっております。

【単体ベース】

決算期	株式会社USEN (完全親会社)			株式会社BMB (完全子会社)		
	平成16年 8月期	平成17年 8月期	平成18年 8月期	平成16年 8月期	平成17年 8月期	平成18年 8月期
売上高 (百万円)	90,609	93,532	104,444	16,861	42,547	43,609
営業損益 (百万円)	6,547	3,014	△602	1,582	5,534	6,302
経常損益 (百万円)	5,926	1,130	△5,485	1,383	4,970	5,757
当期純損益 (百万円)	9,105	△16,555	△12,573	555	2,672	3,553
1株当たり 当期純損益	147.48円	△236.28円	△163.33円	7.71円	37.08円	48.89円
1株当たり 年間配当金	—	10.00円	10.00円	2.0円	7.0円	10.0円
1株当たり 純資産額	728.59円	801.76円	745.46円	215.92円	249.24円	288.97円

(注1) USENは平成16年9月21日付をもって、1株につき10株の株式分割を行っております。なお、平成17年8月期の

1株当たり当期純損失および1株当たり純資産額は、株式分割が期首に行われたものとして計算しております。また、平成16年8月期の1株当たり純資産額および1株当たり当期純利益は、当該影響を考慮し、遡及修正しております。

(注2) BMBは平成16年6月17日開催の第32期定時株主総会により、決算期を3月20日から8月20日に変更しました。従いまして、平成16年8月期は5ヶ月間の変則決算となっております。

4. 株式交換後の状況

(1) 商号	株式会社USEN
(2) 事業内容	放送事業、ブロードバンド・通信事業、カラオケ事業等
(3) 本店所在地	東京都港区赤坂九丁目7番1号
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宇野 康秀
(5) 資本金の額	50,906百万円
(6) 総資産	現時点では確定していません。
(7) 純資産	現時点では確定していません。
(8) 事業年度の末日	8月31日

(9) 会計処理の概要

共通支配下取引等のうち、少数株主との取引に該当する見込みです。

のれん等の金額は現時点では未定です。

(10) 株式交換による業績への影響の見通し

本株式交換によるUSENの連結業績および単体業績への影響については、精査しており、確定次第発表いたします。

以上